

平成23年度モニタリング評価実施による改善のための対応方針等

評価項目	評価基準	評価委員の指摘・助言	改善のための対応方針	次年度以降の事業計画反映内容
<p>(1)施設の設置目的及び管理運営方針</p>	<p>①施設の管理運営方針が提案どおり実施されているか(集客力の向上とNPO活動支援)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多様な業種4者のノウハウの融合による利用者サービスと集客力の向上と集客力の向上</li> <li>・利用者に対する公正、公平な対応</li> <li>・個人情報保護と情報公開への適切な対応</li> <li>・NPO活動支援</li> <li>・青少年センターとしての知名度の向上と青少年活動の新たな拠点づくり</li> <li>・男女共同参画・青少年・NPOの情報発信拠点の設置</li> <li>・環境に配慮した仕組みづくり</li> <li>・利用統計を活用した運営</li> </ul> <p>②提案事業者・法人としての社会貢献活動、環境活動、法令遵守などの取組みの状況(創造的な社会貢献と法令遵守)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会貢献活動</li> </ul>	<p>○ドーンセンターの利用率の向上には、青少年の健全育成に資する機能を発揮する必要がある。この点について工夫をされたい。</p> <p>○ドーンセンターのホームページについては、男女共同参画及び青少年健全育成の目的施設として、女性や若者が「のぞいてみたい」と思うような内容に改善されたい。</p> <p>○ドーンセンターのホール、会議室等の利用状況等をデータに基づいて詳細に分析し、利用率及び利用料金の向上に努められたい。</p>	<p>○青少年向けの利用拡大の取組みについて工夫していただく。</p> <p>○ホームページの改善について男女財団を含め、調整していただく。</p> <p>○利用状況を分析し、利用率向上に努めていただく。</p>	<p>平成24年度事業実施計画施設維持管理マニュアル1頁「利用案内」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○大阪府と調整した内容を2次事業計画に盛り込みます。</li> <li>○ホームページの内容改善(案)を検討調整して2次事業計画に盛り込みます。</li> </ul> <p>施設維持管理マニュアル2頁「貸館部門における利用状況の把握」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○分析結果を次年度以降に反映できるようにします。</li> </ul>
<p>(3)利用者の増加を図るための具体的手法・効果</p>	<p>利用者増加のための具体的手法が提案どおり実施されているか(利用者の立場を踏まえた運営)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開館(利用)時間の延長</li> <li>・利用料金の割引</li> <li>・広報エリアの拡大</li> <li>・青少年関係の利用者増加を図る</li> </ul>	<p>○会議室の規模ごとに利用状況、予約時期を分析し、利用状況に応じて予約時間の対応の検討など、より一層の利用率や府民サービスの向上につなげていただきたい。</p> <p>○利用料金を下げることも、ドーンセンターの付加価値を上げる情報発信に努められたい。</p> <p>○青少年センター機能の付加を新規部門の拡充ととらえ、男女共同参画機能との連携により、時代に即した施設になるよう収支構造の改善につながるよう努められたい。</p>	<p>○より一層の府民サービスの向上に努めていただく。</p> <p>○情報発信の方法を検討し、ドーンセンターの付加価値を高められるよう努めていただく。</p> <p>○青少年関係団体への営業活動をより積極的に実施し、収支改善に努めていただくとともに、男女共同参画機能と連携しながら、時代のニーズに応えられる施設運営を目指していただく。</p>	<p>施設維持管理マニュアル2頁「貸館部門における利用状況の把握」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○利用分析等を検討の上、随時実施していきます。</li> </ul> <p>平成24年度事業実施計画施設維持管理マニュアル1頁「利用案内」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○情報発信方法及び収支改善等を検討の上、随時実施していきます。</li> </ul>
<p>(5)施設の維持管理の内容、適格性及び実現の程度</p>	<p>①管理運営業務を実施する具体的な実施計画が提案どおり実施されているか(得意技を活かす役割分担)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用承認等の体制</li> <li>・ホール、パフォーマンススペース、スタジオの管理</li> <li>・NPO協働フロアの運営</li> <li>・一時保育(こどものへや)の業務体制</li> <li>・施設全体の保守、点検、維持管理体制</li> <li>・専門領域の委託管理体制</li> <li>・安全管理体制</li> <li>・貸館賠償体制</li> <li>・職員研修計画</li> </ul> <p>②施設・設備の点検・補修が提案どおり実施されているか(清潔で安全なエコ施設を目指して)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・価値ある施設への貢献</li> <li>・予防保全品質管理</li> <li>・ライフサイクルを見据えた維持管理</li> <li>・設備管理業務の内容</li> <li>・警備発報、設備異常時の対応</li> <li>・第三者への業務再委託</li> </ul> <p>③自主事業実施計画が提案どおり実施されているか</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・男女共同参画推進事業の共催実施</li> <li>・男女共同参画社会の実現、青少年活動支援の一助になる</li> <li>ワークショップの開催</li> <li>・自主プロデュース公演を検討</li> <li>・青少年活動事業の実施</li> </ul>	<p>○仕様書等の提案内容どおり実施されており、概ね適正である。</p> <p>○なお、男女共同参画推進及び青少年活動に係る自主事業は実施されているが、その他の部門については、公募時に提案された項目は検討中である。については、指定管理の残期間を考慮し、具体的な手法を検討されたい。</p>	<p>○自主事業について具体的な事業を検討していただくとともに、随時実施していただく。</p>	<p>○事業内容が決定次第、6月提出予定の2次事業計画に盛り込みます。</p>
<p>(6)管理経費について、その額となる根拠の考え方</p>	<p>管理経費の縮減について提案どおり実施されているか(低いコストで最大の効果、状況に応じた柔軟な運用)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人件費の節減</li> <li>・施設管理費の削減</li> <li>・利用者の増加による利用料金収入等の増加</li> </ul>	<p>○東日本大震災の影響により、平成23年度初めの利用率が伸びなかったとのことであるが、年度後半に改善されたことで終わりにせず、近年の利用率の伸び悩みの要因について様々な角度から分析し、今後の利用率向上策を検討することが必要である。</p>	<p>○利用率の減少について分析して、今後の利用率の向上策を検討・実施していただく。</p>	<p>○分析結果及び向上策がまとまり次第、事業計画に盛り込みます。</p>
<p>(9)ボランティア・NPOとの協働の取組み状況</p>	<p>ボランティア・NPOとの協働の取組みが提案どおり実施されているか(対等な協働を目指して)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・NPOや市民団体が、施設の目的に合致する事業をドーンセンターで実施する場合、指定管理者と共催事業に認定する。</li> </ul>	<p>○ネットワークの形成、情報発信を図り、NPOとの協働の一層の促進に努められたい。</p>	<p>○ネットワーク形成や情報発信を図る他、共催事業の活用等によりNPOとの協働促進に努めていただく。</p>	<p>○6月提出予定の2次事業計画書に盛り込みます。</p>

I 提案の履行状況に関する項目

評価項目	評価基準	評価委員の指摘・助言	改善のための対応方針	次年度以降の事業計画反映内容
IIさらなるサービスの向上に関する事項	(1)利用者満足度調査等 ①利用者満足度調査等の実施状況 ②調査結果のフィードバック(PDCA)	○年1回のアンケートだけではなく、受付窓口をはじめ日常業務を通して日々、利用者の意見を吸い上げ、サービスを始め運営管理全般にフィードバックして利用者ニーズに即した運営に努めること。	○引き続き、各部屋等にご意見箱を設置し、利用者の意見を吸い上げていただき、アンケートを通年で実施することを検討するとともに、受付において積極的に利用者の声を聞く等努めていただく。	○6月提出予定の2次事業計画書に盛り込みます。
III適正な管理業務の遂行を図ることができる能力及び財政基盤に関する事項	(1)収支計画の内容、適格性及び実現の程度 事業収支は計画に比して妥当か ・事業収支計画、事業収支実績状況	○仕様書どおり実施されており概ね適正であるが、収益を上げていく取組みについては、まだまだ改善の余地がある。 ○平成23年度後半、東日本大震災による利用率の減少は回復基調と報告されているが、次年度以降も安定的に収益向上を図るため、施設の運営について検討していただきたい。 ○最近の稼働率の低下について、更に原因分析を行うとともに、目的利用による場合の料金は周辺施設と比較して安価であることについて、更に情報を発信し、利用者の確保に努めること。	○利用率の減少要因について分析するとともに、より一層の利用者サービスの充実や、自主事業の実施等により、利用率の向上に努めていただく。	○6月提出予定の2次事業計画書に盛り込みます。